

令和2年度学校経営計画表

1 学校の現況(2020年5月1日付)

学校番号	128	学校名	水城高等学校		課程	全日制	学科	普通科	理事長	山野内 吉明	
校長	小田部 幹夫		副校長	稲葉 節生		事務局長	加茂川 裕昭		事務長	鈴木 利久	
教頭	多賀野 雅章		檜山 敏明		荒川 伊望		所在地	茨城県水戸市白梅2-1-45 電話：029-247-6509			
教職員数	管理職 7	教諭 72	養護教諭 1	常勤講師 10	非常勤講師 30	実習教諭 0 実習講師 0 実習助手※	事務職員 8	技術職員 1	カウンセラー 1	寮母 1	教職員計 131 (※ ALT 除く)
生徒数	1学年		2学年		3学年		全学年		1学年14クラス 2学年15クラス 3学年15クラス	44クラス	生徒計 1701
	男	女	男	女	男	女	男	女			
	342	217	350	209	351	232	1043	658			

2 目指す学校像

- 学力の向上を図り、グローバル化・多様化する社会に通用する人材の育成を目指す。
- 主体的に学び、活動する姿勢を育み、自ら考え、判断し、行動できる人材の育成を目指す。
- 部活動等の課外活動に意欲的に取り組み、活力ある学校を目指す。
- 健全な道徳観を有し、敬愛・友愛の情をもって他者と協調し、社会に貢献できる人材の育成を目指す。

3 現状分析と課題(数量的な分析を含む)

項目	現状分析	課題
学習・進路指導	授業の質的な向上に加え、朝や課外ゼミの学習、放課後の自習や補講、面談・個別指導等の効果があらわれ、東北大4名・東京工業大2名の他、京都・一橋・北海道・名古屋をはじめとした国公立大学・大学校に133名、早稲田・慶應義塾をはじめとした私立大学に802名(うち短大6名)の合格者を出した。医学部医学科は4名、薬学部は42名であった。大学入試センター試験最後の年であり、私立大学の定員厳格化により合格者が絞られ競争が激化した中で健闘した。また、新型コロナウイルス感染防止のため臨時休校とした期間に、本校独自のシステムを活用した「遠隔授業」を実施したが、非常時対応として高い評価を得ている。	「遠隔授業」にも対応できた本校独自のICT環境をさらに生かし、平常授業でも生徒の主体的で深い学びを促進する。SUコース新設等、一人ひとりの希望をかなえるべく、学習・進路指導をより発展させ、国公私立大への合格率の上昇等、進学内容の充実を図る。
生徒指導	基本的な生活習慣を身につけさせるべく、頭髪・服装指導や交通安全指導について指導するとともに、日常から挨拶の実践やマナー意識の向上を涵養することで、生徒は全体的に落ち着いた生活を送っている。教員間の共通認識のもとで生徒に公正に接するとともに、定期的な生徒の意識確認を行いつつ、いじめの問題にも常に留意し、生徒の急な変化にも対応できる適切な生徒支援を心掛け、研究・実践していく。	歩行時や自転車走行時の交通ルール遵守を徹底し、SNS利用時におけるメディアリテラシーの向上を更に図る。マナー指導も引き続き行い、品位ある態度の育成を充実させる。
課外活動・特別活動	女子駅伝部が県大会で優勝し、11年連続出場の男子駅伝部と全国大会に出場した。アーチェリー部をはじめとする運動部も、国体や全国・関東大会に出場した。また、硬式野球部は県ベスト4に入った。将棋部・写真部・書道部等が全国規模の大会に出場し、他の文化部も校外で発表の機会を持ち活動している。部活動加入率は昨年度55%程度であったが、臨時休校のため今後新入生が入部する。探究学習の場である「SUIJOよろづ研究室」(『SY研』)も充実し、生徒会や各種委員会も主体的活動の幅を広げている。	部活動加入率を増加させ、学業と部活動の両立を実現して、創意を重んじ、他者を敬愛し、不屈不撓の生きる力を身につけた生徒を育てる。生徒会や委員会活動・校外活動等、生徒の主体的な活動をより活発にする。

4 中期的目標

1 ICT教育を充実させ、主体的で深い学びを実践し、学習意欲が高く活気にあふれた生徒の集団とする。
2 継続的に高い進学実績を積み重ねることで、確固たる進学校を目指す。
3 安心で安全な落ち着いた環境の下で有意義な学校生活を送ることができるよう、生徒指導・生徒支援を徹底する。
4 新型コロナウイルス感染防止等健康管理に十分配慮しつつ、部活動や校外活動等に有意義なかかわり方をさせる。
5 学業と部活動をととして心と身体のバランスのとれた人材を育成する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
授業の質の向上を目指す。	タブレット導入4年目の充実したICT環境の中で生徒の主体的な学びを実現し、大学入学共通テストに対応できる力を身につけさせる。
	教員間の授業見学や外部の授業参観をととして常に研鑽し、質の高い授業を展開できるよう努力する。
	授業アンケートの結果を指導に生かしつつ、常に授業の改善・工夫に努める。
きめ細かい進路指導を実施する。 国公立・難関私立大学等、希望する大学に多数の合格者を出せるよう努力する。	個別面談・LHR・集会をはじめ、あらゆる場面で生徒をよく観察・把握し、生徒の適性に応じたきめ細かな進路指導を行う。
	各種講演会や各種勉強会を実施し、教育の現状や実態を十分理解し、幅広い知識をもって進路指導にあたる。
	入試問題の傾向分析、模擬試験・定期試験の結果分析を日々の学習活動やゼミ活動に反映し、生徒の学力の増進を図る。
生徒が落ち着いて学習でき、安心して安全に学校生活を送れるような環境を整える努力をする。	多様化する生徒の実態を踏まえ、チームによる支援体制を整え、中途退学や転学の防止を目指して努力する。
	通学路での交通安全指導等をととして、交通ルールの遵守と公共の場でのマナーを身につけさせる。
	情報化社会を生きる人間としての自覚を持たせ、SNS利用時の注意点などを踏まえたメディアリテラシーを身につけさせる。
	普段から生徒をよく観察し、また面談やアンケートを活用することで、いじめの早期発見・未然防止に努める。
募集広報活動を充実させる。	本学の教育理念に共鳴する入学者を確保するために、組織的・計画的に広報活動をする。
特別活動を活性化させる。	部活動など課外活動に多くの生徒が参加し、学業と両立し、充実した高校生活を送れるよう支援する。
	清掃等の奉仕活動を通して公共心や社会性、他者を思いやる気持ちを養うと共に、環境問題を考えるきっかけを与える。
	生徒会や委員会等で、生徒がより主体的に活動できるよう、適切な助言・支援を行う。